

平成26年10月19日
今週のベストショット



雁レク軟式3 三苦ホーネッツ 対 ブルーマーリンズ

ホーネッツ井手投手の息子ブルーマーリンズ井手翔一郎(20)選手がHRを放つ。

写真：新町ウインズ 城戸和裕

雁レク軟式4 機先を制したパイレーツが快勝。

新町パイレーツ (5勝5敗2分) 50031 9 ○吉田-小黑

三友クラブ (4勝7敗1分) 00020 2 ●足達-柿崎

HR：白岩将(新町パ) 3BH：小黑(新町パ) 2BH：坂本(三友ク) 盗塁：吉田、田中(新町パ)

快晴も少し冷え込んだ雁レク軟式球場4。ともに4勝の両チーム、先制したのは先行のパイレーツ。三友クラブ足達投手の立ち上がりをつえ、先頭打者小黑選手の三塁打を皮切りになんと5者連続ヒット、打者10人の猛攻で5点を先制する。三友クラブは初回の失点に意気消沈したのかパイレーツ吉田投手に三回までノーヒットに抑えられる。パイレーツは四回にも白岩将選手のホームランなどで3点を加えダメ押し。三友クラブはようやく四回裏に坂本選手の二塁打で2点を返すものの、パイレーツの吉田投手に3安打に抑えられ、五回にも1点加えたパイレーツの快勝となった。(記事、写真：ソルトベイスターズ 田中裕次郎)



三友クラブを三回までパーフェクトのパイレーツ吉田投手。



三友クラブ先発の足達投手。



一回表パイレーツ先頭打者小黑選手が三塁打を放つ。



一回表レフト前に先制打を放つパイレーツ三番牟田選手。



2点目のホームを踏むパイレーツ二番八坂選手。



連打で追加点をあげるパイレーツ四番白岩将選手



五者連続ヒットで怒涛の攻撃を見せるパイレーツ吉田選手。



四回表バントに反応する三友クラブ足達投手と柿崎捕手。



四回表、追加点のホームを踏むパイレーツ安部選手。



ダメ押しとなる2ランを放ったパイレーツ白岩将選手。



四回表、ピンチにゴロを捌く三友クラブ竹岡三塁手。



代打で出塁、盗塁で三塁まで激走するパイレーツ田中監督。

青松園A 奈多サンデーズがしぶとく1点差で勝利！

奈多サンデーズ（10勝1敗1分）03101 5 塚本〇ー田中、長浜

奈多クラブ （8勝4敗0分）10030 4 今林（瑠）●ー高瀬

HR：川上（奈多サ） 2BH：秋山2（奈多サ）今林（瑠）（奈多ク） 盗塁：長浜、川上（奈多サ）

一回裏、先制したのは奈多クラブ。一番今林（賢）選手が右翼へヒットを放つと続く二番高瀬選手、三番今林（瑠）選手も続き無死満塁とし、幸先よくビックチャンスをつかんだ。が…この回は1点止まり。二回表、奈多サンデーズは六番長浜選手が四球を選び出塁すると、すかさずスチールを試みて無死2塁のチャンスを作る。ここで続く打者も四球、犠打、WPなどで同点にすると、一番川上選手が右中間を破る2ランを放ち逆転に成功。続く三回表にもサンデーズは、1点を追加し試合の主導権を握った。しかし、奈多クラブもここで引き下がらない。四回裏、九番木伏選手が左翼前にヒットで出塁し、二番の高瀬選手の犠牲フライで1点を返すと、三番今林（瑠）選手のタイムリー2ベースと四番今林（祐）選手のタイムリーで一気に同点とし、試合は振り出しに。それでも、奈多サンデーズはやはり強い！今日3打数3安打となる秋山選手がセンター前にきっちりヒットを放つと六番長浜選手のセンター前タイムリーで勝ち越しに成功。最後は、優勝争いをしている奈多サンデーズが1点差で勝ち点2を確実にものにした。（記事、写真：三笠フレンズ 肥喜里一征）



奈多クラブ先発今林（瑠）投手。



奈多サンデーズ先発塚本投手



一回裏、ホームアウトなるか？しかし、奈多クラブ1点先取。



二回表、奈多サンデーズ長浜選手が果敢にスチール！



二回表、逆転ツーランを放つサンデーズ一番川上選手。



川上選手を迎え入れる奈多サンデーズベンチ。



四回表、ナイスプレーショート今林健選手。



四回裏、同点のタイムリーを放つ奈多クラブ四番今林祐将選手。



五回表、今日3安打の活躍サンデーズ四番秋山選手。



五回表、決勝勝ち越しタイムリーを放つサンデーズ長浜選手。

雁レク軟式3 ホーネッツ矢野選手が打ってよし、投げてよし。

三苫ホーネッツ（10勝1敗1分）3 6 4 2 1 16 矢野○ー広木

ブルーマーリンズ（0勝13敗）0 1 0 0 0 1 横山●ー尾田

HR：井手（ブルー）今田、矢野（三苫ホ） 2BH：堺（三苫ホ）

盗塁：山崎3、堺、松尾、隅崎、洲上（三苫ホ）

ブルーマーリンズ井手選手はホーネッツの井手投手と親子であり、今日はホーネッツ井手投手が休みなので親子対決はお預けとなったが、ブルーマーリンズ井手選手の1打席目、親心的な感じでホーネッツ側からも声援を受け、それに対してホームランという最高の形で見事に応えた。しかしそれで矢野投手に火が付き、その後許したヒットは1本のみでブルーマーリンズ打線を抑えた。ホーネッツ打線は、二回に今田選手がレフトオーバーホームラン、三回は矢野選手がセンターオーバーホームランを打ち、この試合毎回得点で、主導権を渡すことなく試合を決めた。（記事：新町ウインズ 桐島司、写真：城戸和裕）



試合開始！



ブルーマーリンズ先発の横山投手。



三盗し送球エラーを誘いホームに還るホーネッツ山崎選手。



一回表。タイムリーヒットのホーネッツ五番松尾選手。



ホーネッツ先発の矢野投手。



セカンドフライのはずが・・・ポロリ。



唯一の得点！HRを放ったブルーマーリンズ井手選手。



華麗なスライディングでホームに還るホーネッツ堺選手。



ここまで3打数3安打1HRのホーネッツ矢野選手！
痛烈な打球が三塁線を襲うが・・・惜しくもファール！



ブルーマーリンズと言えばこの人！『代打、俺！』で登場！
真剣な眼差しでボールを見極める阿部選手。



ホーネッツベンチより三球三振指令が出る中に
代打で登場！ブルーマーリンズ小柳監督。



試合終了！

第23週編集後記

WS Lの皆さん、コンニチハ！

第23週、10月19日は3試合が行われました。

雁レク軟式4の新町パイレーツ対三友クラブ戦は、初回から5連打で5点を先制したパイレーツが、四回にも白岩(将)選手の2ランなどで追加点を挙げ、投げては吉田投手が三友打線を3安打2失点に抑え、9-2でパイレーツの勝利。五割に復帰したパイレーツは最終・三球会戦に勝ち越しを懸ける。現在首位打者の三友クラブ柿崎選手(0.583)は、レッド江口選手(0.563)との2分差を逃げ切れるか?最終戦の相手は優勝争い中の奈多サンデーズ戦だ。

青松園Aの奈多サンデーズ対奈多クラブの昨年1位2位対決は、初回の一三塁のチャンスを逃したサンデーズに対して、三連打で無死満塁のチャンスを得た奈多クラブだったが、エラーの1点のみに抑えらる。サンデーズは二回表に一番川上選手の2ランなどで逆転。三回にもこの日3安打の四番秋山選手の二塁打などで3点差とするも、四回裏に三安打を集めて同点に追いついた奈多クラブ。しかし最終五回表、長濱選手のタイムリーで5-4と勝ち越したサンデーズが優勝への最難関を接戦で制し、最終・三友クラブ戦に臨む。

雁レク軟式3の三苦ホーネッツ対ブルーマーリンズ戦は、こちらも優勝争い中のホーネッツが、今期末勝利のブルーマーリンズを15-1で難なく倒し、奈多サンデーズ同様に首位をキープ。この試合、打率4位のホーネッツ矢野選手(0.556)と5位の今田選手(0.552)が共にHRを放ち、こちらも最終戦で首位打者を狙える位置にある。リーグ序盤、全く当たりの無かったホーネッツ九番塚選手も3打数3安打。この試合、ブルーマーリンズ唯一の得点が、今週のベストショットにも出ていた井手翔一郎選手のHR。実はホーネッツ井手投手の息子さんです。最近親子で別チームというのが流行りでしょうか?

個人タイトル争いは、打撃部門はどれも混戦で最終戦次第です。投手部門は、防御率・奪三振はウインズ藤田投手で決まりでしょうが、最多勝は8勝で4人が並んでいます。

優勝争いは、10勝1敗1分で三苦ホーネッツと奈多サンデーズが最終戦に懸けます。これは見物です。
10月26日に予期せぬ何かが起こる!

プロ野球は、パ・リーグを接戦で制した福岡ソフトバンクホークスが、セ・リーグ覇者ジャイアンツを破った阪神タイガースと日本シリーズで戦います。

真の日本一を決める戦い、とても楽しみです。

またドラフトも行われ、若い戦力が期待に胸を膨らませ、プロの門を叩きます。

おそらくWSLの誰しもが夢見た世界の新たな1ページが刻まれるこの時期に、WSLも大詰めを迎えました。